

2022年度の最重要大会を世界選手権及び、アジア大会とする。

◆第19回世界選手権大会(日本・福岡 5/22-29)

[選考方法]

- 1、選考競技会を国際大会派遣選考会(辰巳・2022・3/2～5)とする
- 2、選考は、第19回世界選手権大会競技規則に基づいて日本水泳連盟選手選考委員会があたり編成方針(日本水泳連盟が決定する)に沿って総合的な判断により選考する
- 3、リレーの選考は、別途考慮し選考する

***派遣Ⅲ以上を突破した選手は世界選手権及びアジア大会内定とする。**

◆第19回アジア競技大会(中国・杭州 9/11～9/16)

[選考方法]

- 1、選考競技会を第一次選考大会を国際大会派遣選考会(辰巳・2022・3/2～5)とする
追加選考大会を日本選手権(辰巳・6/16～19)とする
- 2、選考は、第19回アジア競技大会競技規則に基づいて日本水泳連盟選手選考委員会あたり編成方針(日本オリンピック委員会が決定する)に沿って総合的な判断により選考する
- 3、編成人数は、JOCの内示をもって対象とする
- 4、リレーの選考は、別途考慮し選考する

*スケジュールの都合上、国体と重なる可能性がある

◆第31回ワールドユニバーシティゲームス(中国・成都・6/27～7/3)

[選考方法]

- 1、選考競技会を国際大会派遣選考会(辰巳・2022・3/2～5)とする
- 2、選考は、第31回ワールドユニバーシティゲームス大会競技規則に基づいて日本水泳連盟選手選考委員会あたり編成方針(日本オリンピック委員会が決定する)に沿って総合的な判断により選考する
- 3、参加有資格者は大学在学中(学生委員会登録者)または大会開催の前々年(2020年1月1日以降)に大学を卒業した者(派遣Ⅲ突破)
年齢は18～26歳とし、最高2回までとする。
(1996年1月1日生まれから2004年12月31日生まれまで)
- 4、リレーの選考は、別途考慮し選考する
- 5、編成人数は日本オリンピック委員会の内示を持って対象とする。

***世界選手権・世界ジュニア選手権とは別に選考する**

◆第8回世界ジュニア選手権(ロシア・カザン・8/23～28)

[選考方法]

- 1、選考競技会を日本選手権(辰巳・6/16～19)とする
- 2、選考は、第8回世界ジュニア選手権競技規則に基づいて日本水泳連盟選手選考委員会あたり編成方針(日本水泳連盟が決定する)に沿って総合的な判断により選考する(1種目・1国2名まで)
- 3、参加有資格者は、FINAルールに準ずる女子14～17歳・男子15～18歳(2022年12月31日を起算とする)
(女子2005年～2008年、男子:2004年～2007年)
***要項に変更があった場合は要項を優先とする**
- 4、編成人数は未定とする。
- 5、世界選手権出場者の参加も認める。また選考された場合にはアジア大会に出場できる
- 6、本大会参加の意思を確認する

*スケジュールの都合上、全国中学・インターハイ・夏季JOには出場できない。